

I 総務報告

1 理事会

(1) 第48回理事会

日 時：平成22年6月15日（火）13時00分～15時30分

会 場：結核予防会会議室

議 案：平成21年度事業報告承認の件／平成21年度決算承認の件／評議員の選任の件／定款変更案承認の件／役員報酬規程変更承認の件／寄附金等取扱規程制定承認の件／就業規則改正承認の件／職員給与規程改正承認の件

(2) 第49回理事会（書面表決）

書面表決の日：平成22年8月11日（水）

方 法：寄附行為第29条の規定に基づく書面表決

議 案：議事録署名人選任の件／定款変更案承認の件

(3) 第50回理事会

日 時：平成23年3月25日（金）11時00分～13時00分

会 場：KKRホテル東京「平安の間」

議 案：平成22年度収支補正予算案承認の件／平成23年度事業計画案承認の件／基本財産額変更の件／平成23年度収支予算案承認の件／評議員選任の件／事務局の組織及び運営規程改定の件／職務権限規程改定の件／非常勤職員就業規則制定の件／会計処理規則改定の件

報告事項：(1)公益認定について、(2)給与の減額及び希望退職者の募集について

2 評議員会

(1) 第49回評議員会

日 時：平成22年6月15日（火）13時00分～15時30分

会 場：結核予防会会議室

議 案：平成21年度事業報告同意の件／平成21年度決算同意の件／理事の選任の件／定款変更案承認の件／公益認定移行時の監事の選任の件

(2) 第50回評議員会（書面表決）

書面表決の日：平成22年8月11日（水）

方 法：寄附行為第29条の規定に基づく書面表決

議 案：議長選出の件／議事録署名人選任の件／定款変更案承認の件

(3) 第51回評議員会

日 時：平成23年3月25日（金）11時00分～13時00分

会 場：KKRホテル東京「平安の間」

議 案：平成22年度収支補正予算案同意の件／平成23年度事業計画案同意の件／基本財産額変更の件／平成23年度収支予算案同意の件

報告事項：(1)公益認定について、(2)給与の減額及び希望退職者の募集について

3 その他

(1) エイズ予防財団理事懇談会

日 時：平成23年1月12日（水）16時30分～18時30分

会 場：結核予防会会議室

内 容：研究推進事業人件費（国庫補助金）の返還について／厚生労働省エイズ予防対策事業平成23年度予算について／人件費に関して／その他

II 事業報告

1 国際協力事業（一般会計）

(1) 国際研修生の受け入れ

国際協力機構（JICA）事業によりわが国に研修に来ている外国人研修生を受け入れ、わが国のHIV感染症とその予防対策の状況、財団の概要などの講義を行った。

- ① JICA「ザンビア共和国 HIV・エイズケアサービス管理展開プロジェクト」カウンターパート研修（独立行政法人国立国際医療研究センター受け入れ）

5月19日（水） ザンビア 4人

- ② JICA「AIDSの予防及び対策（B）」コース研修（北海道大学大学院受け入れ）

6月14日（月） アフリカ諸国 8名、アジア諸国 11人

- ③ JICA「地域母子保健強化（中南米）」コース（社団法人沖縄県看護協会受け入れ）

6月17日（木） ボリビア、パラグアイ、コロンビア、ブラジル、エクアドル、ニカラグア、ウルグアイ、ベネズエラ、ペルー9カ国 12人

- ④ JICA「公衆衛生活動による母子保健強化」コース研修（社団法人沖縄県看護協会受け入れ）

9月28日（火） ケニア、南アフリカ共和国、ジンバブエ3カ国 6人

- ⑤ JICA「地域保健システム強化による感染症対策」Bコース研修

（社団法人沖縄県看護協会受け入れ）

2月25日（金） アンゴラ、ブルキナファソ、ガンビア、タンザニア4カ国 9人

2 ティーンエイジャー支援事業（一般会計、支出額：5,104,642円）

ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社からの寄付を受けて、高校生・中学生を中心とするティーンエイジャーを対象としたHIV／エイズ予防啓発活動で、①ティーンエイジャー自身が参画する活動、②ティーンエイジャーを指導・支援する人たちによる育成活動への資金助成を実施した。

実施に当たり、選考委員会を開催して助成団体を決定するとともに、団体間のネットワーク作りやモニタリング委員会による各団体へのモニタリング評価を行った。

平成22年度助成対象一覧（計9件 3,500,000円）

団体名	プロジェクト名	助成金額
IWATE：生と性及びエイズ教育を考える会	ティーンエイジャーと教師が共に進める「生と性・AIDS教育」	400,000円
神奈川性・エイズ教育実践研究会	高校生エイズフォーラムKANAGAWA	400,000円

NPO法人えんばめんと堺/ES	10代の性・生をともに考えるワークショップ～HIV/AIDS～	600,000円
ピアっ子あいち	ピアカウンセラー（ピアっ子）の養成	500,000円
財団法人大阪YWCA	中高生の自己決定を助ける大学生サポーター養成	250,000円
NPO法人市民共同学習プロジェクト子どもひろば	高校生のHIV感染を予防するための参加型学習の実施事業	600,000円
愛知県立日進高等学校	ロールプレイをつかったエイズ予防劇的スキルアップ	250,000円
セクシュアリティ教育研究会「NUHWびあ」	高校生と大学生の連携・協働によるピアエデュケーションの実践とピアサポーターの育成	300,000円
秋田大学大学院教育学研究科心理教育実践専修	秋田大学 HIV予防啓発イベント	200,000円

3 大阪HIV検査センター支援事業（一般会計、支出額：34,670,421円）

ブリストル・マイヤーズ株式会社からの寄付金及び米国ブリストル・マイヤーズ・スクイブ基金からの助成金を受けて、大阪検査相談・啓発・支援センター（chot CASTなんば）を設置し、同センターを大阪府・大阪市が利用することにより、HIV検査・相談等の事業を支援した。

- ・検査日：週4回（日曜、火曜、金曜、土曜）※平成21年10月から土曜日は休止していたが平成22年7月から土曜日の検査が再開された。
- ・平成22年度検査実施日数：183日
- ・HIV検査受検者数：5,097人（うちHIV陽性者数41人）

また、昨年度に引き続きこの施設において、教育啓発、カウンセリング、研修のプログラムをNGO等とともに実施した。

なお、平成23年4月から同センターは検査センターとコミュニティセンターとして分割され、大阪府・大阪市が検査センターを、厚生労働省からの受託者がコミュニティセンターを運営し、2つの施設を合わせて大阪検査相談・啓発・支援センターとして継続して運営されることとなった。

4 日本エイズストップ基金の運営（日本エイズストップ基金特別会計）

寄付金収入：18,042,877円、支出額：14,193,828円

エイズ対策に関する募金活動、チャリティ事業及び個人の寄付等の金銭的支援の受け皿として設置された日本エイズストップ基金の運営を行った。

(1) 第18回日本エイズストップ基金運営委員会

日 時：平成22年7月2日（金）10時00分～12時00分

場 所：結核予防会会議室

議 事：平成21年度収支報告、平成22年度基金配分について

委 員：山本直樹・栗山昌子・小坂善治郎・田中好子・中村 博

(2) 助成事業・助成先（計16件 7,788,334円）

① エイズ患者・HIV感染者に対する社会的支援事業

1	NPO法人動くゲイとレズビアンのか（アカー）	600,000円
2	HIV陽性者参加支援スカラシップ委員会	600,000円
3	ライフ・エイズ・プロジェクト（LAP）	600,000円
4	LIFE東海	600,000円
5	NPO法人レッドリボンさっぽろ	600,000円

② エイズ患者・HIV感染者等に対する電話相談事業

1	NPO法人AIDSネットワーク横浜	600,000円
2	せかんどかみんぐあうと	600,000円
3	NPO法人りょうちゃんず	600,000円

③ エイズ予防啓発事業

1	AIDS文化フォーラムin横浜組織委員会	214,390円
2	NPO法人現代美術研究会	300,000円
3	HIV/エイズ学習研究会	123,944円
4	長崎ウエスレヤン大学学生啓発活動グループサンファンデック	350,000円
5	社団法人広島県臨床検査技師会	400,000円
6	NPO法人魅惑的（エキゾチック）倶楽部	600,000円
7	早稲田大学公認イベント企画サークルqoon	400,000円
8	wAds2010実行委員会	600,000円

(3) 普及啓発及びチャリティイベント事業

① 「TEENS ROCK IN HITACHINAKA 2010」でエイズ予防啓発

高校生ロックバンド選手権「TEENS ROCK IN HITACHINAKA 2010」本選大会において、主催者であるひたちなか青年会議所などの協力により地元の高校生たちがエイズ予防啓発のリーフレットや布レッドリボンを配布した。エイズ予防財団が後援した。

日 時:平成22年5月15日（土）

場 所：国営ひたち海浜公園（茨城県ひたちなか市）

参加者：高校生等約12,000人

② アシエット婦人画報社との協力事業

同社の発行する月刊誌「メンズクラブ」でエイズ予防に関する記事の編集に協力した。エイズ予防啓発とチャリティオークションのページが掲載され、チャリティとして551,793円の寄付を受けた。

③ リーバイ・ストラウス ジャパン(株)との協力事業

同社の実施する「Forever Blue」キャンペーンに協力した。個人の愛用していたビンテージのジーンズも含めて約10,000本をリーバイスのストアが引き取り、フリーマーケットやチャリティオークション等で販売、1,987,656円の寄付を受けた。

④ 東宝株式会社「RENT」でエイズ予防啓発と募金活動

上演期間中（東京シアタークリエ、10～11月）に会場ロビーで予防啓発パンフレットの配布と募金活動を実施した。

⑤ エイズチャリティ美術展でのエイズ予防啓発と募金活動

ハートアートコミュニケーションズの実施するチャリティ美術展において、エイズ予防啓発と募金活動を実施した。

実施期間：平成23年1月20日（木）～31日（月）

⑥ アリコジャパン及び同全国代理店会連合会との協力事業

同社の全面的な支援を受け、年間を通してエイズ予防啓発パンフレットの個人(家庭)や法人への配布など、エイズ予防啓発と寄付活動を展開した。

⑦ 第17回プライベートフットボール全日本選手権大会でエイズ予防啓発

大会パンフレットにエイズ予防啓発の広告を無料掲載、全選手がヘルメットにレッドリボンのシールを貼って試合に臨んだ。また、会場内にアナウンスでレッドリボンの趣旨とエイズ予防を呼び掛けた。

平成23年2月27日（日）、神奈川県・川崎球場

⑧ 地域イベント等の普及啓発と募金活動

地域で行われている祭りや催事等にブースを設置し、パンフレット等の配布を行い、併せて募金活動を実施した。

「EXCITING CHARITY LIVE against AIDS（神奈川県片瀬江ノ島海岸、8月）」
／「水戸神輿祭り」（茨城県水戸市、8月）／「物江民夫リサイタル」（東京芸術劇場、9月）
／「STOP AIDS!ロシュ・サンスターチャリティ古本市」（東京都港区、10月）
／「第24回日本エイズ学会学術集会・総会」（東京・グランドプリン

スホテル高輪、11月) / 「10thアール・エスパワーチャリティ美術展」(世田谷美術館、12月) / 「浜松オートレース場」(静岡県浜松市、11~12月) / 「ゴールデンチャイルドBOXING (金子ボクシングジム協力)」(東京都文京区後楽園ホール、6/13、8/9、9/13、12/10) ほか

5 エイズ予防対策事業 (厚生労働省委託費、委託費収入: 289,021,620円)

(1) 血液凝固異常症実態調査事業 (支出額: 9,932,834円)

血液製剤を通じてHIVに感染した血友病患者を中心に血液凝固異常症の病態を把握し、治療の向上と生活の質の向上に寄与することを目的として、血液凝固異常症患者を治療している全国の医療機関で調査を実施した(平成22年度は1,350施設、1,484担当医等に調査票を送付し、689施設、770担当医等から3,540の症例について回答あり)。

調査結果報告書は、回答のなかった医療機関を含め、すべての担当医及び患者等に提供し、フィードバックすることにより患者の治療とQOLの向上を図った。

なお、調査の精度及び専門性を確保するため、医療関係者及び患者で構成する全国調査運営委員会を設置して実施した(2回開催)。

(2) HIV感染者等保健福祉相談事業 (支出額: 60,998,799円)

① エイズ治療中核拠点病院相談事業

エイズ治療中核拠点病院に相談員を配置し、HIV感染者・患者等への心理的援助を行った。

ア 配置医療機関 (28機関)

大館市立総合病院 / 群馬大学医学部附属病院 / 都立駒込病院 / 東京慈恵会医科大学附属病院 / 横浜市立大学附属病院 / 新潟大学医歯学総合病院 / 富山県立中央病院 / 福井大学医学部附属病院 / 岐阜大学医学部附属病院 / 豊橋市民病院 / 名古屋医療センター / 三重大学医学部附属病院 / 滋賀医科大学医学部附属病院 / 京都大学医学部附属病院 / 市立堺病院 / 大阪市立総合医療センター / 兵庫医科大学病院 / 奈良県立医科大学附属病院 / 鳥取大学医学部附属病院 / 島根大学医学部附属病院 / 高知大学医学部附属病院 / 産業医科大学病院 / 佐賀大学部附属病院 / 長崎大学病院 / 熊本大学医学部附属病院 / 宮崎県立宮崎病院 / 鹿児島大学医学部・歯学部附属病院 / 琉球大学医学部病院

イ 相談員連絡会議の開催

相談の精度確保及び均てん化を図るため、全国の相談員を一同に招集し、情報・

意見交換を行うとともに、エイズ治療ブロック拠点病院のカウンセラーによる指導等を行った。

実施日：平成22年9月11日（土）～12日（日）

場 所：国立国際医療研究センター（東京都）

参加者：37人

ウ 相談事業支援連絡会の開催

相談員のより有益な活動を支援するため、主要相談員による支援会議を開催した。この中で相談事業実施機関におけるカウンセリング環境等の状況を把握し、事業の効果的活動について検討を行うとともに、相談員の横の連携を強め、カウンセリング体制の強化を図った。

実施日：平成22年12月19日（日）

場 所：エイズ予防財団会議室

参加者：7人

エ 中核拠点病院カウンセリング情報の提供

中核拠点病院が実施しているカウンセリングの日時、予約方法等の情報をAPI-Netに掲載し、利用者の便に供した。

② HIV検査・相談事業

HIV検査受検者数の拡大を図るため、休日や夜間など受検者の利便性に配慮した検査・相談を実施した。

ア 定期的なHIV検査の実施（大阪市）

イ HIV検査普及週間や世界エイズデーに合わせた臨時HIV検査の実施

さいたま市（3回）、渋谷区（2回）、中野区（1回）、神奈川県（1回）、名古屋市（2回）、大阪市（1回）

ウ HIV検査相談業務における関係者の技術向上を図る研修の実施

実施日：平成23年3月10日（木）

場 所：大阪赤十字会館（大阪市）

参加者：48人

③ 専門相談員による電話相談

当財団内に電話相談室を設置し、専門相談員による電話相談を実施した（フリーダイヤルで、月曜から金曜までの毎日、午前10時から午後1時、午後2時から5時まで）。

平成22年度電話相談受付件数： 9,475件

ア 相談員のための内部研修の実施

HIV診療に当たる医師や臨床心理士等の専門家による講義や事例検討を通して、電話相談の技術向上や役割の再確認などを行った。

実施日：平成22年7月24日（土）

場 所：日本教育会館（東京都）

参加者：11人

イ 電話相談統計情報の提供

当財団で実施している電話相談の統計情報や相談内容等の情報をAPI-Netに掲載し、全国の自治体・NGO・NPO等における同様業務担当者の便に供した。

- ④ 8カ国語でのエイズ予防情報の電話自動応答システム（JFAPエイズサポートライン）を東京、神戸に設置して運営した。

(3) ボランティア指導者育成事業（支出額：1,441,542円）

エイズNGO活動におけるリーダー養成のため、NGO指導者研修会を開催した。平成22年度は、NGO活動の継続に不可欠な資金調達のノウハウ習得に重点を置いた。

なお、各NGOの相互理解と情報共有を図るため、プログラムの一部は通訳研修会（相談員養成研修事業）と合同で実施した。

実施日：平成23年2月26日（土）～27日（日）

場 所：天満研修センター（大阪市）

参加者：14人

(4) 相談員養成研修事業（支出額：9,957,112円）

HIV感染症・エイズに関する相談体制の質の向上、量的充実を図るため、相談員養成研修会を実施した。

① 検査相談研修会（基礎編）

目 的：最近のHIV検査の動向や対応ポイント等について学ぶとともに、実際の検査時対応の基本演習を行う。

対 象：HIV検査相談業務に携わる保健所・保健センター・クリニックを含む医療機関その他の機関の担当者

実施日：平成22年8月26日（木）～27日（金）

場 所：飯田橋レインボービル（東京都）

参加者：78人

② 検査相談研修会（応用編）

目 的：HIV医療や検査に関する最新知見を取得するとともに、多様な検査体制での対応のポイントについて学ぶ。

対 象：HIV検査相談業務に携わる保健所・保健センター・病院・NGO等の担当者で、過去に当財団主催の「検査・相談」研修を受講している者又は国立保健医療科学院の基礎研修を受講している者

実施日：平成22年5月20日（木）～21日（金）

場 所：飯田橋レインボービル（東京都）

参加者：38人

③ 予防ケア研修会（入門編）

目 的：HIVに関する経緯、現在の課題、今後の方向性を学び、日本におけるエイズ問題への理解を深める。

対 象：HIVの予防・啓発教育、HIV陽性者の医療や地域支援等に関わる行政機関・医療機関・教育機関・NGO等の関係者

ア 東京

実施日：平成22年7月1日（木）～2日（金）

場 所：飯田橋レインボービル（東京都）

参加者：107人

イ 広島

実施日：平成22年10月16日（土）～17日（日）

場 所：広島市まちづくり市民交流プラザ（広島市）

参加者：52人

④ ケア合同研修会（応用編）

目 的：HIV感染者・パートナー・家族に対する様々な職種、地域からの支援について学び、また、トレーニングする。

対 象：エイズ領域に関わるカウンセラー、ソーシャルワーカー、医師、看護師、保健師、NGO関係者等

実施日：平成23年1月20日（木）～21日（金）

場 所：飯田橋レインボービル（東京都）

参加者：55人

⑤ 通訳とHIV研修会

目 的：HIVに関する医療や福祉制度、HIV通訳の特徴や留意点等を学ぶ。

対 象：外国籍HIV感染者や家族への通訳の支援活動を行う者

実施日：平成23年2月26日（土）～27日（日）

場 所：天満研修センター（大阪市）

参加者：17人

(5) エイズ治療拠点病院医療従事者海外実地研修事業（支出額：9,348,114円）

エイズ治療の拠点病院における診療能力の向上及びHIV感染症／エイズ診療のリーダー的役割を担う人材の育成を図るため、エイズ診療の経験豊富な海外医療機関に医療従事者を派遣し、臨床実地研修を実施した。

① サンフランシスコ（医師等コース）

研修先：カリフォルニア州立大学サンフランシスコ校

日 程：11月6日（土）～11月21日（日）

参加者：医師等（初・中級者）5人

② サンフランシスコ（看護師等コース）

研修先：カリフォルニア州立大学サンフランシスコ校

日 程：10月30日（土）～11月14日（日）

参加者：看護師等6人

(6) エイズ治療拠点病院地域別病院長会議開催事業（支出額：388,433円）

エイズ治療拠点病院の整備状況、今後の拠点病院の在り方等について意見交換を実施するため、厚生労働省で開催された「中央運営協議会」に合わせて、エイズ治療ブロック拠点病院長会議を開催した。

日 時：平成23年3月3日（木）16時30分～17時30分

場 所：法曹会館（東京都）

(7) HIV診療医師情報網支援事業（支出額：15,424,969円）

HIV感染症の臨床医等による交流等の連携を図るため各ブロックに設置された情報網に対し、必要な支援を行った。各情報網では、症例検討会や講演会の開催、ネットワーク紙の発行等のほか、今後の取り組みを共有するための会議を開催した。

支援先情報網（7カ所）

東北HIV診療支援ネット／HIV感染症の医療体制構築を目指すネットワーク（新潟）／東海ブロックエイズ診療拠点病院連絡協議会／北陸HIV臨床談話会／関西HIV臨床カンファレンス／岡山HIV診療ネットワーク／九州ブロックエイズ診療

ネットワーク会議

(8) エイズ国際会議研究者等派遣事業（支出額：2,910,185円）

わが国のエイズ対策の広範な充実、活性化を図ることを目的として、平成22年7月に開催された第18回国際エイズ会議（ウィーン）に参加する研究者、NGO、医療従事者等の会議登録料、旅費等を助成した（派遣人数10人）。また、会場内にブースを出展し、わが国のHIV感染症／エイズの現状とその対策、NPO・NGO等の活動の取り組み等の情報発信を行った。

(9) エイズ国際協力計画推進検討事業（支出額：1,646,695円）

第18回国際エイズ会議における活動の成果を踏まえ、平成23年8月に韓国・釜山市で開催予定の第10回アジア太平洋地域エイズ国際会議（ICAAP）の成功に向けた支援強化を目的とするワークショップと事務局へのフォローアップ調査を行った。

① 事前調査

平成22年7月18日（日）～23日（金）、オーストリア・ウィーン市、派遣者 1人

② 第10回アジア太平洋地域エイズ国際会議（ICAAP）準備ワークショップ

平成22年12月18日（土）～19日（日）、大韓民国・ソウル市、派遣者 8人

③ フォローアップ調査

平成23年2月14日（月）～19日（土）、タイ・バンコク市、派遣者 1人

(10) エイズ知識啓発普及事業（支出額：105,257,266円）

① 「世界エイズデー」ポスターコンクール

全国の小学校、中学校、高等学校の児童・生徒及び一般を対象に、HIV予防を呼びかけるポスターコンクールを実施し、受賞作品はAPI-Net（エイズ予防情報ネット）で公表するとともに、「世界エイズデー」イベント会場においてパネル展示した。

募集期間：平成22年7月5日（月）～9月6日（月）

応募総数：239点

ア 第1次審査会

日 時：平成22年9月30日（木）13時30分～16時30分

場 所：結核予防会会議室

結 果：第1次審査通過作品は239点中73点

イ 本審査会

日 時：平成22年10月4日（月）14時00分～16時00分

場 所：結核予防会会議室

結 果：小・中・高・一般の各部門につき最優秀賞1点、優秀賞2点、佳作3点を
選考。また、最優秀賞作品（4点）中、1点を「世界エイズデー」啓発用
ポスターとして選定

ウ 表彰式

日 時：平成22年11月19日（金）15時30分～16時00分

場 所：法曹会館（東京都）

②「HIV検査普及週間」（6月1日～7日）の啓発普及事業

ア 街頭キャンペーンの実施

HIV検査普及週間の告知と保健所等でのHIV無料・匿名検査実施の告知を目的とし、
自治体、NGO、学生ボランティア等の協力を得て街頭キャンペーンを実施した。

日 時：平成22年6月1日（火）11時30分～13時30分

場 所：JR水道橋駅東口周辺

参加者：18人

配布物：予防啓発グッズ等2,000セット

イ ポスターの作成・配布

前年度「世界エイズデー」ポスターコンクールにおける「一般の部最優秀賞」作品
のデザインを使用したポスターを作成し、各自治体等を通じて全国で掲示した
（22,000部）。

ウ インターネット等による啓発と情報提供

HIV検査普及週間前後の期間に各自治体で実施されるイベントやHIV検査・相談の
実施体制等について情報収集し、API-Netで公開した。

③「世界エイズデー」（12月1日）の啓発普及事業

ア 街頭キャンペーンの実施

世界エイズデーの告知と保健所等でのHIV無料・匿名検査実施の告知を目的とし、
学生ボランティア等の協力を得て街頭キャンペーンを実施した。

（ア）名古屋での街頭キャンペーン

「RED RIBBON LIVE 2010 in NAGOYA」に合わせて実施

日 時：平成22年11月21日（日）13時00分～16時00分

場 所：アスナル金山「明日なる広場」（愛知県名古屋市）

参加者：15人

配布物：予防啓発グッズ・パンフレット1,000セット

(イ) 東京での街頭キャンペーン

「RED RIBBON LIVE 2010」に合わせて実施

日 時：平成22年11月27日（土）13時00分～15時00分

場 所：渋谷駅北口ハチ公前周辺（東京都渋谷区）

参加者：45人

配布物：予防啓発グッズ・パンフレット3,000セット

日本看護協会シンポジウムに合わせて実施

日 時：平成22年12月1日（水）18時00分～20時00分

場 所：日本看護協会ビル（東京都渋谷区）

参加者：7人

配布物：予防啓発グッズ・パンフレット1,000セット

イ「RED RIBBON LIVE 2010」ブース設置

会場内にブースを設置して来場者への啓発を図るとともに、世界エイズデーポスターコンクールの入賞作品を展示した。

日 時：平成22年11月27日（土）17時30分～21時00分

場 所：SHIBUYA-AX（東京都渋谷区）

配布物：予防啓発グッズ・パンフレット500セット

ウ インターネット等による啓発と情報提供

世界エイズデー前後の期間に各自治体で実施されるイベントやHIV検査・相談の実施体制等について情報収集し、API-Netで公開した。

エ 交通広告による啓発普及

全国主要都市（札幌、仙台、首都圏、名古屋、大阪、福岡）におけるJR、私鉄、地下鉄などの電車内広告と、羽田空港駅を中心とした京浜急行線における電車内・駅構内での広告掲載などの啓発活動を展開した。

実施期間：11月27日（土）～12月13日（月）

オ 世界エイズデー・キャンペーンテーマの策定・周知

世界エイズデー・キャンペーンテーマの決定プロセスをコミュニティに立脚したものとするためのフォーラム「Making the AIDS Campaign～みんなでテーマを考えよう～」の開催、その後の関係者によるワーキンググループでの議論を経てキャンペーンテーマが策定された。テーマ決定後はチラシ11,000枚を作成し、各自治体に配布した。

- ・第1回フォーラム（参加者 20人）
 - 日 時：5月15日（土） 16時00分～18時00分
 - 場 所：コミュニティセンターakta（東京都）
- ・第2回フォーラム（参加者 20人）
 - 日 時：5月20日（木） 18時30分～20時30分
 - 場 所：ねぎし内科診療所（東京都）
- ・キャンペーンテーマ報告会（参加者 20人）
 - 日 時：9月23日（木） 16時30分～17時30分
 - 場 所：コミュニティセンターakta（東京都）

④ 講演会「UNAIDS新事務局長と語るエイズの現状とビジョン」の開催

国連合同エイズ計画（UNAIDS）新事務局長ミシェル・シディベ氏の初来日を記念して、講演会を開催した。併せて、「The Benchmark：日本の現状」と「Joint Action for Results. UNAIDS成果の枠組み、2009－2011」の2冊を翻訳、印刷し、配布した（各1,000部）。

- 日 時：平成22年9月2日（木） 16時00分～17時45分
- 場 所：東京大学医科学研究所 講堂
- 主 催：厚生労働省、エイズ予防財団
- 参加者：130人

⑤ 小冊子・リーフレット・啓発グッズの作成・提供

エイズ予防啓発のパンフレット・啓発グッズを作成し、自治体等からの要請に応じて提供した。

ア 啓発パンフレット

- ・「HIV/エイズの基礎知識」 394,000部
- ・「STIとかエイズのこと知ってる？」 374,000部
- ・「安心と早期発見のためのHIV検査」 215,000部
- ・「学ぼう防ごう身近なAIDS」 90,000部
- ・「話し合おう AIDS」 150,000部

イ 啓発グッズ

- ・レッドバンド 20,000本
- ・コンドームケース 10,000個
- ・レッドリボンクリップ 20,000個
- ・レッドリボンシール 20,000枚

- ⑥ 海外渡航者向けの小冊子を作成し、全国の空港等において配布した。

冊子名：「HIV&AIDS～海外旅行をする人のために～」

部 数：74,800部

- ⑦ 国連合同エイズ計画（UNAIDS）発行の冊子の翻訳と配布

UNAIDS発行の冊子を、その許諾の下で邦語に翻訳・発行し、エイズ治療拠点病院、都道府県エイズ担当課等に配布するとともに、API-Netに公開した。

冊子名：「AIDS SCORECARDS」（「概略：UNAIDSレポート「世界のエイズ流行」
2010年版」）

部 数：2,000部

- ⑧ 同性愛者等に向けたHIV感染症／エイズ予防啓発活動

ア コミュニティセンターの設置・運営

同性愛者等に対して、エイズに関する正しい知識の普及、予防行動やHIV検査受検行動の促進を図るため、HIV／エイズに関する情報提供を行うコミュニティセンターを仙台市、東京都、名古屋市、大阪市、福岡市、那覇市に設置し、情報提供、啓発活動等を実施した。

イ 連絡協議会

コミュニティセンターの事業活動方針を協議し、事業目的に沿った運営を行うための連絡協議会を設置した。

ウ 予防啓発研修会

同性愛者等のためのHIV予防啓発に特化した研修会を実施した（4回）。

平成22年5月22日（土）、haco（福岡県）／8月28日（土）、同／6月18日（金）、新宿文化センター（東京都）／9月17日（金）、同

エ 啓発資材

同性愛者等を対象としたHIV感染症・エイズ予防啓発の資材を作成し、コミュニティセンターを中心に配布した。

オ イベントでの啓発活動等

各地域で行われる同性愛者を主な対象とするイベントに参加し、HIV感染症／エイズ予防を呼びかける活動を行った。

東京プライドパレード：平成22年8月14日（土）、代々木公園イベント広場／
レインボーマーチ札幌：平成22年9月19日（日）、札幌大通公園／PLuS＋
FINAL：平成22年10月10日（日）、大阪市扇町公園

- ⑨ その他啓発活動

様々な機会を利用し、ブース出展によるHIV感染予防の啓発普及を図った。また、独自での出展が困難なNGO団体等に働きかけ、パンフレット等展示スペースを提供した。

ア 第59回日本医学検査学会

会 期：5月22日（土）～23日（日）

会 場：神戸国際展示場

イ AFRICAN FESTA 2010 IN YOKOHAMA

会 期：6月12日（土）～13日（日）

会 場：横浜赤レンガ倉庫イベント広場

ウ 第18回日本ジャンボリー

会 期：8月2日（月）～4日（水）

会 場：静岡県立朝霧野外活動センター

(11) エイズ予防情報センター事業（支出額：3,377,045円）

パソコンサイト及びモバイルサイトによりエイズ予防情報ネット（API-Net）を運営し、HIV感染者・エイズ患者やその家族、一般国民、医療関係者等に対し、エイズに関する啓発情報、HIV検査情報、NGO活動情報等を提供した（年間アクセス者数は171,865件）。

① 「HIV検査・相談窓口」等の情報サービスの実施

全国の保健所等における検査日時や場所、予約の方法、電話相談等についての情報収集及び提供を行った。

② NGO活動紹介

全国のHIV感染症／エイズ予防活動に取り組むNGOの情報収集及び提供を行った（掲載NGO数 81団体）。

(12) 青少年エイズ対策事業（支出額：8,807,931円）

青少年を対象とする、科学的根拠に基づいたエイズ予防事業の実施を目的として、①保健所のエイズ対策担当者、②小学校・中学校・高等学校の教師（保健室の養護教諭等）を対象とした研修会を実施した。

① 保健所プロジェクト

実施日：平成22年7月15日（木）～16日（金）

場 所：京都ガーデンパレス

参加者：44保健所51人

② 保健室プロジェクト

ア 小学校・中学校用研修会

実施日：平成22年8月18日（水）

場 所：京都大学百周年時計台記念館

参加校：57校（小学校25校、中学校32校）

参加者：69人（小学校26人、中学校43人）

イ 高等学校用研修会

実施日：平成22年8月24日（火）

場 所：京都大学百周年時計台記念館

参加校：26校

参加者：29人

(13) エイズ治療啓発普及事業（支出額：2,566,091円）

エイズ治療等に関する最新の情報を整理・提供する「エイズレポート」を作成し、自治体、エイズ治療拠点病院、研究者、NGO等に配布した。

発行日：平成22年5月（第88号）、平成23年1月（第89号）

発行部数：各13,000部

6 エイズ対策研究推進事業（厚生労働科学研究費補助金、補助金収入：333,571,000円）

(1) エイズ対策研究推進事業運営委員会

日 時：平成23年3月22日（火）15時00分～17時00分

会 場：結核予防会会議室

内 容：平成23年度事業応募申請の採択等について

(2) 外国人研究者招へい事業（支出額：1,867,373円）

・招へい人数 2名

・招へい内訳（国別） 米国 1名 オランダ 1名

(3) 外国の研究機関等への委託事業（支出額：5,030,044円）

・委託件数 1件

・委託内訳（国別） タイ 1件

(4) 若手研究者育成活用事業（リサーチ・レジデント）（支出額：313,565,710円）

・人数 74名

国立感染症研究所等研究機関（21機関） 33名

ブロック拠点病院等（10機関） 41名

(5) 研究成果等普及啓発事業（支出額：13,108,557円）

・研究成果発表会 開催回数 17件（31回）

<テーマ>

- ① 慢性疾患としてHIV／エイズ治療の問題点と展望 1回
- ② HIV陽性者を巡る地域支援の連続性 2回
- ③-1 個別施策層を対象とした日本のエイズ対策に関する行政との協働と展望 1回
- ③-2 学校教育におけるMSMとHIV感染症－現場の声と当事者の声 1回
- ③-3 沖縄のMSMをとりまく現状－バー・アンケート調査の結果をふまえて 1回
- ③-4 東北地域におけるMSMに向けたHIV感染対策 1回
- ④-1 PluS+FINALシンポジウム「つけさえしたらエエ。のか？」 1回
- ④-2 HIV感染研究における人文諸学の応用可能性－予防介入の人文的根拠を探るその2 1回
- ⑤ 東京地域における男性同性間のHIV感染対策とその介入効果に関する研究成果 3回
- ⑥ 地方でもHIV予防情報をもっと身近なものにしよう 2回
- ⑦-1 女性とHIV感染症 1回
- ⑦-2 若者の性感染症、子宮頸がん、そしてHIV母子感染 1回
- ⑧ HIV陽性者の歯科診療の課題と対策 1回
- ⑨ 地方公共団体－NPO連携によるHIV対策－検査事業の普及－ 2回
- ⑩ MSM対象のワークショップ型普及啓発－予防行動・受検行動の促進－ 2回
- ⑪ セックスワーカーのいるまち2010 2回
- ⑫ 性被害体験をもつ子どものセクシャルヘルスとその支援～児童自立支援施設の入所児童に関する研究と実践から～ 1回
- ⑬ 関西圏の外国人（特にSW）のHIV感染予防等の活動について 1回
- ⑭ 沖縄県・地方のゲイコミュニティHIV感染予防等の活動について 2回
- ⑮ 日本のエイズ－全国インターネット調査から見た性的指向と健康問題－ 2回
- ⑯ HIV/AIDS患者の長期療養を地域で支える－どこでどのような支援が受けられるのか－ 1回
- ⑰ HIV診療支援ネットワーク（A-net）の将来像－患者参加型のネットワークを目指して－ 1回

7 エイズ予防のための戦略研究事業（厚生労働科学研究費補助金、補助金額：170,000,000円）

本戦略研究は、HIV検査を2倍に増加させ、エイズ発症者を25%減少させることを成果目標とし、平成18年度から5年間の研究として開始されたものであり、本年度が最終年度であった。

課題名は「首都圏及び阪神圏の男性同性愛者を対象としたHIV抗体検査の普及強化プログラムの有効性に関する地域介入研究」で、名古屋市立大学看護学部 市川誠一教授を研究リーダーとして実施され、首都圏（東京都、神奈川県、千葉県）及び阪神圏（大阪府、兵庫県、京都府）に居住するMSM（男性と性的接触を有する男性）を対象として、HIV抗体検査促進のための啓発を実施し、各介入対象のHIV検査件数、AIDS発症者を効果指標として、啓発の有効性を検証することを目的とした研究である。

介入の柱は、①HIV抗体検査受検行動を促進するための啓発資材・プログラムの開発と普及、②HIV抗体検査の整備と拡大、③相談体制の整備であった。

戦略研究の介入効果を測定するために、首都圏・阪神圏の研究協力施設（医療機関・保健所など計154施設）において、HIV検査受検者に対するアンケート調査とHIV検査件数に関する調査を平成19年10月から平成22年12月末まで実施した。

首都圏における介入では、保健所及び公的HIV検査機関におけるMSM受検者の増加が認められ、阪神圏における介入では、MSM定点医療機関におけるMSM受検者の増加が認められた。AIDS発症者の抑制効果については、平成22年度エイズ動向委員会報告（平成23年度に公表）を用いて評価する予定である。

委員会の開催

- ・第11回運営委員会（平成23年3月28日）：東京通信病院会議室

8 その他事業

出版社等の発行する小冊子、リーフレット等の監修を行い、監修名義を付与した。

自治体・企業・団体等が主催するHIV感染症／エイズに関する講演会、チャリティイベント等に後援名義を付与した。

東京都立両国高等学校附属中学校の職業体験学習施設として、2学年5名の生徒を受け入れた。HIV／エイズに関する正しい知識の学習とともに、「世界エイズデー」イベント・渋谷街頭キャンペーンの配布用啓発グッズの封入作業を体験した。平成22年11月9日（火）～11日（木）。